

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 3月 1日

事業所名:なないろ

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		指定基準の3倍のスペースを確保し、活動する場とつろぐ場をパーティションで分けています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		区分2の厚労省が評価する常勤換算3名の体制を整えた上で、事業所努力で可能な配置体制をとっています。	多様な児童を受け入れるためには職員が必要。そのためには運営が成り立つよう制度の見直しを訴えていく必要があります。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○	賃貸物件であるため可能な範囲での配慮となっています。足りない部分はマンパワーで対応します。	街づくり条例に基づき、建物設備においても行政確認の上、指定を受けているものの、2F入口が階段であるためバリアフリーとはいえません。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		日々のミーティングにて振り返りや見直しを行っています。	勤務日数の少ない非常勤職員への連絡や指導を丁寧に行っていくことが必要。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		厚労省作成のアンケートに加え、独自のアンケートを用意し、ヒアリング時に保護者さんの意向の把握に努めているところです。	今回の厚労省作成のアンケートの回答により、今後の業務・事業運営の見直しをしていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページにて公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		適時、事業所内で虐待防止や資質向上のための研修を行っています。	今以上に研修や勉強会にあてる時間を捻出することが課題です。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子ども10人に対して支援する中で、どこまで全ニーズに応えられるかが課題です。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		児童発達支援管理者のもと職員がアイデアを出し、全体で話しプログラムを作っています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		いくつかの基本プログラムを用意し、放課後・長期休暇などの利用時間を考えプログラムを組立しています。	基本プログラムは繰り返すことが子どもの力になるひとつの要素であるとも考えています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		同上	保護者就労支援も兼ねているため、調整が必要なことが課題です。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		基本は集団活動の中で個別の課題を考えた取り組みを行っていますが、状況により個別活動を行い計画を作成しています。	限られた時間・職員で10人に対して個別活動を行うことに難しさがあることが課題です。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		通常は行っている。	学校休業日においては保護者就労支援として長時間のご利用があるため、簡略化しなければならないことが課題です。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		通常は翌日のミーティングにて振り返り、打ち合わせをするが、急を要する場合、重大な事柄は当日に報告している。	同上
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○	支援学校と年1回の情報共有の場を設けています。トラブル発生時は相互間で連絡相談しています。	学校により情報共有が困難な場合があるため、通常、下校時刻などの連絡は保護者様から頂いています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在は対象となる児童がいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		現在は対象となる児童がいませんが、ご利用の際は保護者様や相談員との相談の上、行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		転居される保護者様からご依頼があり、情報提供をしたケースがあります。	ご依頼がある場合、提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		利用児童の特性を配慮した上で、要望があり、必要とされるものであれば考えていきたいと思えます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々のブログ・送迎時の報告や連絡帳などで、情報共有しています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		積極的には行っていませんが、保護者様からご相談があった場合に行うことがあります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様からご相談があった場合、行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		不定期ですが保護者様のつながりの場として茶話会を行っています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		日々のブログや月の予定表により活動報告、連絡事項をお伝えしています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		全職員が秘密保持誓約書に同意し署名しています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		職員ミーティングや保護者様と相談し、意思伝達について考えています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		利用児童の特性を配慮した上で、要望があり、必要とされるものであれば考えていきたいと思えます。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアル等は配備していましたが、保護者様への周知ができていませんでした。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回の避難訓練を行っています。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年1回の事業所内虐待防止研修を行っています。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現在、対象となる児童がいませんが、ご利用の際は左記のとおり行っています。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在食物アレルギーに関しては保護者様からの聞き取りで対応しています。	保護者様からの聞き取りが医師の指示のもとであるか確認を行っていく必要があります。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			